



ひまわりの絆プロジェクト



▲(上)プロジェクトの説明を受ける天高生 (下) 種を植える園児ら

今年も「ひまわりの絆プロジェクト」として、こども園や警察署、天塩高校の花壇でひまわりの種まきが行われました。

同プロジェクトは、平成23年に京都府内で発生した交通事故で亡くなった当時4歳の男の子が、幼稚園で育てていたひまわりの種を引き継ぎ、交通事故根絶の願いを込めて花を咲かせるという運動で、平成28年度から全国各地で行われています。

6月19日にこども園きりん組の園児らが参加した種まきでは、天塩警察署の警察官に見守られながら楽しんで種をまく姿が見られました。



天塩港航路維持へ 砂利組合らが寄付



▲寄付と要望のため来庁した3社の代表

6月17日、天塩地区砂利協同組合及び天塩港湾施設利用協同組合の組合員であるヤマシメ桑田海運(株)(桑田幸治代表・写真左)、北晃マリン(株)(村上彰一代表・写真中央)、(有)抜海運送(山本博文代表・写真右)が役場を訪れ、「よいみなと」の語呂合わせで413,710円を寄付しました。同組合は札幌市内の再開発事業に使われる砂利を運搬していますが、天塩港内に砂が流れ込み水深が浅くなるために、船舶への積載量を減らさざるを得ないという厳しい現状に触れ、港湾の整備に関して町長へ要望を行いました。



田所さんが信金社会貢献賞



▲町長へ受賞報告に訪れた田所さん(中央)と町消防団の桑田団長(右)

全国信用金庫協会が主催する「第28回信用金庫社会貢献賞」の個人賞に、稚内信用金庫天塩支店の田所彩さんが選ばれました。田所さんは平成23年4月に北留消防組合天塩町消防団に入団し、現在に至るまでの14年間、各種訓練や火災予防の啓発活動などで精力的に活動が続けていることが高く評価され、今回の受賞に至りました。

信用金庫社会貢献賞は、全国の信用金庫や役員などが行う社会貢献活動に対して贈られるもので、今回は田所さんが道内で唯一の受賞となりました。



赤十字奉仕団が介護タオルを寄贈



▲介護タオルを寄贈した天塩町赤十字奉仕団の団員ら

6月30日、天塩町赤十字奉仕団の草刈房子委員長らが町立病院を訪れ、介護タオル約6千枚を寄贈しました。

介護タオルは、使い古したタオルや不要になった衣服といった古布を、団員らが使いやすいサイズに裁断したもので、使い捨てのタオルとして院内の様々な場面で活用されています。同奉仕団は長年にわたりこの活動を続けており、古布は団員らが集めたもののほか、この活動を聞きつけた町外の方からも提供していただきました。



こども園避難訓練&放水体験



▲放水を体験する園児

7月8日、こども園で火災を想定した避難訓練が行われました。素早く園庭に避難することができた園児らは、北留萌消防組合天塩支署の職員が「火事や地震など怖いことが起きた時には、今日の訓練のことを思い出して避難してください」と呼びかけると元氣よく返事をしました。

続いて行われた放水体験では、園児らが消防士の衣装に身を包み、火元と仮定したカンバンめがけて放水、カンバンが倒れると歓声が上がりました。続いて保育士らも消火器の使用方法を体験し、非常時に備え気持ちを新たにしました。



テトテ・プラス5周年



▲(左)5周年の看板 (右)カヤックを楽しむ参加者ら

令和2年に始まったコミュニティカフェ「Te to Te + (テトテ・プラス)」が5周年を迎えました。7月5日の開催では先着30名限定でドリンク無料券が配布され、最高気温26℃を観測した夏日のなか、訪れた人々は冷たいソーダやコーヒー、アイスクリームなどを楽しみました。

同時に鏡沼ではカヤックツアーが開催され、計14名が参加しました。はじめは慣れない手つきでパドルを動かしていた参加者たちも次第にコツを掴み、沼の一部に群生するスイレンなどを間近に楽しみながら沼を1周しました。

天塩町と樺太の関係

町民の皆様こんにちは。4月から地域おこし協力隊(学芸員)として活動している前川康生(まえかわ こうせい)と申します。今回の協力隊通信では樺太と天塩町の関係性について書いてみます。私は、大学生の時の卒業研究で樺太史における戦争史をテーマにしていました。天塩町の地域おこし協力隊として活動する中で、町と樺太に関係性のある情報を調べていました。その中で2点お伝えしたいことがあります。

一つ目は町民の方に祖父母が、樺太出身者だという方が多くいらっしゃることを伺いました。調べたところ、天塩町は終戦後、樺太からの引揚先のうちのひとつだったと知りました。とある史料では、更岸地区に複数の引揚者が住み始めたとの記述を見つけました。また、天塩町は、サハリン州南西部のトマリ市(旧泊居町)と友好交流協定を1992(平成4)年に締結していることも興味深いと感じております。今後の活動の中で、是非とも天塩町内において、樺太に関する情報を集めて、特別展示や寄稿などの方法を通じて町民の皆様にお伝えできればと考えています。



二つ目に、三船殉難事件について皆様はご存じでしょうか。第二次世界大戦末期の1945年8月、樺太へのソ連侵攻が始まり、大泊港から小樽に向けて出港した疎開船が3艘、留萌沖でソ連の潜水艦の攻撃を受けて、約1700名以上の命が奪われた事件です。陸地に近い距離に沿って南下をしていたので、もしかしたら攻撃される前の船を見たことがある町民がいたのではないかと考えています。三船殉難事件の情報もこの天塩町で何か見つけられたらと思っています。

もっと天塩町について知りたくなる日々です。これからも一生懸命に活動を頑張っていきます。

